

英語モジュールにみる 内部圏の英語変種における語彙の相違

川島 (笹原) 志保美

Vocabulary Description of 4 Varieties of English in Reference to the English Modules

KAWASHIMA (SASAHARA) Shihomi

The aim of this article is to summarize the descriptions of the vocabulary used in the dialogues of the TUFUS×KANDA English modules, i.e. spoken Englishes in the United States, Britain, Australia, and New Zealand. As is well understood among the sociolinguists, “Standard English” is not better nor logical than other varieties of English, but many Japanese English learners think that American or British English is the best and have some prejudice toward the other varieties without any solid foundation. The Internet educational materials have been developed not only to offer practical teaching aids to Japanese English learners but also to give enough data and knowledge to break down the prejudice. In the vocabulary descriptions of the modules, we pointed out the expressional differences as well as spelling differences among the aforementioned four varieties, to let the learners know the followings: (1) Vocabulary differences between British English and American English are most distinct and there are sets of regular spelling differences that exist between the two varieties. (2) Australian English and New Zealand English have some unique expressions and in New Zealand, there are a large number of Maori words into the usage of English speakers.

キーワード： 語彙記述、綴り字、アメリカ英語、イギリス英語、オーストラリア英語、ニュージーランド英語

1. はじめに

TUFUS×KANDA 英語モジュールは、東京外国語大学が2002年より開発している「東京外国語大学(TUFUS)言語モジュール」の一環として開発

された、無料のインターネット教材である。新城・矢頭(2014)によれば、「英語への多様性への関心が高まるなか、日本で最も学ばれている英語こそ「方言版」があってしかるべきという声が開発者たち、そしてユーザーたちからも上がり、英語の多変種版の開発に至った」(新城・矢頭、2014、p. 130)のものであり、英語のみならず、他言語とも共通の言語機能を取り上げ、それぞれの変種の母語話者が演じる動画付きの会話形式の教材である。

社会言語学の分野では、学術誌 *World Englishes* が1981年に創刊されたのをはじめ、英語の多様な変種についての研究が進んでいる。そして、いわゆる「標準英語」と呼ばれる英語が、英語の社会変種の一つにすぎず、世界各地で話されている諸変種の間には優劣がないことは当然のこととして理解されている。しかしながら、日本の教育機関で使われている英語教材は、いわゆる「標準アメリカ英語」がモデルになっているため、アメリカ英語、イギリス英語以外の諸変種についての一般の理解は浅く、教育やビジネスの現場において誤解や偏見が生じるものになるなど、コミュニケーションに不都合をきたすことがままあるのが実情である。こうした状況に一石を投じ、当該英語変種が話される社会の事情と文化、国民性を理解する一助となるように開発されたのが本モジュール教材である。

本稿では、TUFS×KANDA 英語モジュールのうち、アメリカ英語、イギリス英語、オーストラリア英語、ニュージーランド英語の4変種における語彙説明を取り上げて、総括を試みる。

2. 英語モジュールのダイアログについて

TUFS×KANDA 英語モジュールは、「日常生活で想定される40の場面を各英語変種の母語話者に演じてもらい、その動画と音声に日本語訳、語彙説明、発音説明を付して配信している。前半の20会話は各英語変種固有の SCRIPT で各変種固有の語彙や語法を多く含み、後半の20会話は基本的に同じ SCRIPT で、部分的に各変種固有の語彙や表現に変え、固有の発音で会話している。」(新城・矢頭、2014、pp. 130-131) 本モジュールで取り上げた40の言語機能を各変種固有の SCRIPT と全変種共通の SCRIPT とに分類すると、表1の通りである。

英語モジュールにみる内部圏の英語変種における語彙の相違

表 1. 英語モジュールで取り上げた言語機能
(数字は、英語モジュールの MENU 中に付された順番)

各変種固有のスクリプト	全変種共通のスクリプト
01. 挨拶する	02. 感謝する
03. 注意をひく	04. 自己紹介する
06. 人にものをあげる	05. 謝る
09. 経験についてたずねる	07. さよならを言う
14. 手段についてたずねる	08. 金額についてたずねる
15. 能力についてたずねる	10. 予定を述べる
16. 場所についてたずねる	11. 程度についてたずねる
18. 意見を述べる	12. 時間についてたずねる
24. 比べる	13. 数字についてたずねる
25. 提案する	17. 特徴についてたずねる
27. 依頼する	19. 好きなものについて述べる
28. 例をあげる	20. 好きな行動について述べる
29. 妥協する	21. 順序について述べる
30. 許可を求める	22. 状況についてたずねる
31. しなければならないと言う	23. 条件をつける
32. 禁止する	26. 理由を述べる
35. しなくてもよいと言う	33. 指示する
38. 要求する	34. しななくてくれと言う
39. 希望を述べる	36. 招待する
40. 人を紹介する	37. 助言する

3. アメリカ英語、イギリス英語、オーストラリア英語、ニュージーランド英語の語彙説明について

3.1. 各変種で使用される語彙の相違

本稿で取り上げる4つの英語変種、アメリカ英語、イギリス英語、オーストラリア英語、ニュージーランド英語で使用される語彙を比較すると、もっとも大きく異なるのはアメリカ英語とイギリス英語である。Trudgill & Hannah (2008) が指摘するように、オーストラリア英語とイギリス英語の語彙の違いは、イギリス英語とアメリカ英語の場合と比較すると小さく(Trudgill & Hannah, 2008, pp. 25–26)、ほとんどの場合、ニュージーランド英語の語彙は、オーストラリア英語あるいはイギリス英語と一致する(Trudgill & Hannah, 2008, p. 31) からである。しかしながら、オーストラリア英語には先住民の言語からの借用語が、また、ニュージーランド英語にも先住民の言語であるマオリ語からの借用語がみられるうえ、両変種ともに言語内で変化しており、イギリス英語とは異なる語彙も多々ある。

以下、まず日本人に馴染みのあるアメリカ英語とイギリス英語の語彙の違いをまとめ、のちにオーストラリア英語の語彙とニュージーランド英語の語彙の特徴を述べる。

3.2. アメリカ英語とイギリス英語の語彙の違い

Trudgill & Hannah (2008) は、イギリス英語とアメリカ英語において使用される語彙が異なるおもな要因を次の4点と指摘している。(1) 北アメリカにおいて新しい物事が生じ、それを指し示す語を作る、あるいは、その新しい物事に既存のイギリス英語の語を当てはめる必要性に迫られたこと。(2) イギリス英語と北アメリカ英語が分かれた後の技術的、文化的進歩により、新しい語が必要となったこと。(3) 他言語からの影響。特にアメリカ英語は数多くの語を様々な言語から借用している。こうした語の中にはイギリス英語に流入している語もある。(4) イギリス英語、北アメリカ英語それぞれが独自に変化したこと。一方が失った古い語をもう一方が維持していることもあるし、一方が取り入れていない新しい意味をもう一方が取り入れていることもある(Trudgill & Hannah, 2008, pp. 87–88)。

英語モジュールにみる内部圏の英語変種における語彙の相違

また、Crystal (1995, 2003) が指摘するように、両変種の相違は、口語において、より顕著となるものの、どれだけの相違があるのか正確に数えあげることはできない。近年、映画やテレビなどのメディアの発達により、両変種が双方向に影響し合っている（特にアメリカ英語がイギリス英語に与える影響が大きい）ことから、以前ほど明確な相違が観察されなくなってきたこと、両変種における語彙の相違が研究成果として発表されるようになってからまだ日が浅く、解明し尽くされているとはいいがたい状況にあること、がその理由である（Crystal, 1995/2003, p. 306）。

3.2.1. 一方の変種で意味が増えている語

イギリス英語話者とアメリカ英語話者間のコミュニケーションにおいて問題となる可能性がある語彙である。増えた意味は、隠喩的な意味拡張に因ることが多い。具体例として、英語モジュールのダイアログで使用した語彙について表2、表3にまとめた。

表2. アメリカ英語において意味が増えている語

語	両変種に共通の意味	アメリカ英語において増えている意味
awesome	恐ろしい、すさまじい	すごい、とてもいい
side	側面	サイドディッシュ

表3. イギリス英語において意味が増えている語

語	両変種に共通の意味	イギリス英語において増えている意味
bird	小鳥	若い女性（スラング）
hall	玄関の広間、廊下	大学寮
leader	先導者	社説
pint	液量の単位（0.473 リットル）	1 パイントのビール
to pinch	つまむ	盗む
rubbish	くず、がらくた	悪い、使えない

3. 2. 2. 同じ概念や物を異なった語で表す例

イギリス英語とアメリカ英語の語彙の違いは、大部分がこのタイプである。対応する語が、もう一方の変種ではあまり使われない例と使われる例とに分けられる。具体例として、英語モジュールのダイアログで使用した語彙について表4から表6にまとめた。

表4. アメリカ英語でのみ使われる語

アメリカ英語でのみ使われる語	対応するイギリス英語の語	日本語訳
faucet	tap	水道の蛇口
steal (名詞)	deal (名詞)	掘り出し物

表5. イギリス英語でのみ使われる語

イギリス英語でのみ使われる語	対応するアメリカ英語の語	日本語訳
Blimey!	Oh dear!	これは驚いた!
Cheers.	Thank you.	ありがとう。
corner shop	kiosk	売店
cuppa	cup of tea	一杯のお茶
fag	cigarette	タバコ
flat	apartment	アパート
flatmate	roommate	ルームメイト
footie	football, soccer	フットボール、サッカー
gobby	loudmouth	おしゃべり
loo	toilet	トイレ
nick	steal	盗む
No probs.	No problem.	(依頼に対する快諾の返答) ああいいよ。

英語モジュールにみる内部圏の英語変種における語彙の相違

No worries.	No problem.	(依頼に対する快諾の返答) ああいいよ。
pickish	slightly hungry	小腹が空く
pop	quickly put	急いで置く
queue	line	行列
quid	pond	ポンド
a roast	a large piece of meat cooked in the oven	ローストした塊肉
treacle	molasses	糖蜜

表 6. 対応する語が、もう一方の変種でも使われる語

アメリカ英語	イギリス英語	日本語訳
to call	to ring	電話をかける
can	tin	缶
cellphone	mobile	携帯電話
game	match	試合
garbage	rubbish	ゴミ
gas/gasoline	petrol	ガソリン
to skip something	to give something a miss	…を避ける、…に行かない
gonna	going to	going to の縮約形 (口語)
wanna	want to	want to の縮約形 (口語)

3. 2. 3. イギリス英語とアメリカ英語で異なる語

イギリス英語とアメリカ英語で異なる語彙を分野別に列挙すると、表 7 から表 11 に示すとおりである。(掲載した語は、すべて英語モジュールのダイアログで使用したもの。)

表7. 食べ物と料理

アメリカ英語	イギリス英語	日本語訳
cookie (plain)	biscuit (sweet)	クッキー
cookie tray	baking tray	ベーキングトレイ
dessert	pudding	デザート
French fries	chips	フライドポテト
fizzy drink	soda pop	炭酸飲料

表8. 衣類とアクセサリー

アメリカ英語	イギリス英語	日本語訳
sweater (pullover)	jumper	セーター

表9. 家・学校

アメリカ英語	イギリス英語	日本語訳
garbage can	dustbin	ごみ入れ
current mailing address	current residence	現住所
classes	courses	授業
semester	term	学期
core course	foundation course	基礎コース/科目
dormitory	hall of residence	(大学の) 寮
vision test	eye test	視力検査

表10. 商業

アメリカ英語	イギリス英語	日本語訳
laundromat	launderette	コインランドリー

表 11. 輸送

アメリカ英語	イギリス英語	日本語訳
pavement	sidewalk	歩道
crosswalk	zebra crossing	横断歩道
highway	motorway	高速道路
driver's license	driving licence	運転免許

3.3. アメリカ英語とイギリス英語の綴り字の違い

イギリス英語とアメリカ英語には規則的な綴り字の違いがある。古い時代の綴り字は変化しやすく、英米の英語がそれぞれ標準的な綴り字として異なった表記を選ぶにいたったこと、アメリカで、1806年のノア・ウェブスターによる綴り字改革をはじめとしてルール化が試みられ、綴り字が刷新されたことが原因である (Trudgill & Hannah, 2008, p. 83)。英語モジュールでは、綴り字の異なる語彙についても語彙説明を付し、学習者の注意を喚起した。(表 12 参照。)

表 12. アメリカ英語とイギリス英語で異なる綴り字を用いる語彙
(すべて英語モジュールで使用した語)

アメリカ英語	イギリス英語	日本語訳
color	colour	色
farther	further	far (距離が遠い) の比較級
favor	favour	好意
flavor	flavour	香り
license (名詞と動詞)	licence (名詞)	免許
liter	litre	リットル
mom	mum	ママ、お母さん
program	programme	計画、プログラム

3.4. オーストラリア英語特有の語彙

オーストラリア英語特有の言い回しは、おもに口語表現に見られる。アメリカ英語、イギリス英語と語彙そのものが異なるケースのほか、以下のような特徴が見られる。

(a) 依頼するときに、“please” のかわりに “thanks” を用いることが多い。

(1) A: For here or take away?

B: Take away, thanks.

(英語モジュール、オーストラリア英語 10. 提案する)

(b) 単語を短く省略した言い方が多く、また、こうした語の中には、-/i:/、-/ou/ で終わる名詞がイギリス英語と比較して多い。具体例として、英語モジュールのダイアログで使用した語彙を表 13 に示した。

表 13. オーストラリア英語で使われる省略した言い方の語

オーストラリア英語	標準英語	日本語訳
arvo	afternoon	午後
barbie	barbeque	バーベキュー
bicky	biscuit	クッキー
cab sav	Cabernet Sauvignon	カベルネ・ソービニオン (ワインの種類)
chewie	chewing gum	チューイングガム
chippy	carpenter	大工、建設作業員
chockie	chocolate	チョコレート
Chrissie	Christmas	クリスマス
dimmie	dim sum	ギョウザ
doco	documentary	ドキュメンタリー
footy	football	フットボール
goer	good idea	いい考え
k's	kilometers	キロメートル

英語モジュールにみる内部圏の英語変種における語彙の相違

Maccas	McDonald's	マクドナルド
nipper	junior	子ども、若い人
pusher	child's stroller	ベビーカー
roo	kangaroo	カンガルー
roomie	roommate	ルームメイト
sanga	sandwich	サンドイッチ
servo	service station	ガソリンスタンド、サービスステーション
sickie	sick leave	(1回の)病気休暇
snag	sausage	ソーセージ
sunnies	sunglasses	サングラス
ta	thank you	ありがとう
tinnies	cans of beer or drink	(ビールや飲料の)缶
trackies	track suit pants, sweat-pants	スウェット
uni	university	大学
ute	pick up truck	軽トラック

3.5. ニュージーランド英語特有の語彙

ニュージーランド英語の語彙は、多くの場合、オーストラリア英語やイギリス英語と一致し、特にオーストラリア英語の語彙と同様である場合が多い。前節、表 13 に提示した語彙のうち、ニュージーランド英語でも使用される語彙は、barbie、bikky (オーストラリア英語では bicky)、footy、nipper、sickie、sunnies、ta、tinny、uni が挙げられる。ほかに、brolly (umbrella)、ciggy (cigarette)、cuppa (cup of tea or coffee)、telly (television)、tenner (10 dollars) など。

また、後述するマオリ語からの借用語をはじめ、ニュージーランド英語特有の表現もみられる。英語モジュールでは、ニュージーランド英語特有

の表現である“aye”、“yeah, nah”をダイアログに複数回使用し、学習者の印象に残るよう工夫している。

(a) 文末に付加される“aye”

付加疑問文の付加語句の代用として、また、軽く同意を促す時に使用される。

(2) Okay, Rachel, will leave you to it—catch up soon, aye?

(英語モジュール、ニュージーランド英語 01. 挨拶する)

(3) Have a bit of a win on the horses, aye?

(英語モジュール、ニュージーランド英語 08. 金額についてたずねる)

(4) Right, better get to class, aye.

(英語モジュール、ニュージーランド英語 06. 人にもものをあげる)

(5) You're right, we should be stoked, aye.

(英語モジュール、ニュージーランド英語 07. さよならを言う)

(b) 否定的な意見に同意する時によく使われる“yeah, nah”

(6) B: You sure?

A: Yeah, nah—it's ok John. Don't stress about it.

(英語モジュール、ニュージーランド英語 05. 謝る)

(7) A: You up for heading out to the coast?

B: Yeah, nah—not sure I'm up for that.

(英語モジュール、ニュージーランド英語 29. 妥協する)

Trudgill & Hannah (2008)によれば、ニュージーランドの全人口の約14%がマオリ語を母語とする先住民族のマオリ族である(Trudgill & Hannah, 2008, p. 31)。ニュージーランドの地名の多くがマオリ語起源であるほか、ニュージーランド英語にも多くの借用語が見られ、こうした語はニュージーランド社会に溶け込んで使用されていて、特に注釈を必要とすることはない。英語モジュールで使用したマオリ語起源の語彙を表14に

まとめた。

表 14. マオリ語起源の語彙

ニュージーランド英語	標準英語	日本語訳
haka	posture dance	マオリ族の伝統的な戦いの踊り。重要なイベントの時に踊られる。
hangi	—	地面に掘った穴の中で食材を蒸す、マオリ族の伝統的な料理
ka pai	good	よい
kaimoana	sea food	シーフード
Kia ora	Hello	やあ、こんにちは
Kiwi	New Zealander	ニュージーランドの
kiwiana	—	ニュージーランド独特の
kumara	sweet potato	サツマイモ
paua	abalone	アワビ
whanau	family	家族、家庭
whare	house	家

3. 6. 各変種に固有の社会、文化を反映している固有名詞の例

当該言語の社会、文化を理解するうえで、固有名詞だけが重要な鍵になるわけではないが、英語モジュールのダイアログに使用した固有名詞には、それぞれの変種に固有の社会、文化を反映したものが多い。例として大規模セールを取り上げると、アメリカ英語では Black Friday、イギリス英語では January sale、オーストラリア英語では Boxing Day Sales、ニュージーランド英語では New Year's Day Sales の名称をダイアログ中に用いている。また、イギリス英語のダイアログには、大学の名称として具体的に University of Cambridge, King's college が取り入れられ、当該社会を理解

する一助となっている。また、ニュージーランド英語のダイアログ中の人名には、女性の名まえに Arihana、Marama、Hinemoa、Moana、男性の名まえに Hone、Tama が使われ、マオリ族の人口の割合が一定数あり、文化的に大きな影響力を持っていることが示されている。

4. 終わりに

本稿では、TUFS×KANDA 英語モジュールのうち、アメリカ英語、イギリス英語、オーストラリア英語、ニュージーランド英語の4変種の語彙説明について総括してきた。それぞれの変種の語彙の特徴を知ること、発音の特徴を理解することと並んで当該言語の社会や文化を理解する第一歩となる。

グローバル化の進む世界において、リング・フランカとしての英語の役割は今後も強くなり続け、英語の諸変種を正しく理解することは、ますます重要になるであろう。TUFS×KANDA 英語モジュールによって、日本人英語学習者の標準アメリカ英語偏重傾向に一石が投じられることを望んでいる。

参考文献

- 新城真里奈、矢頭典枝(2014)「大学における英語変種を教える試み TUFS×KANDA 英語モジュールの開発を事例に」『外国語教育研究』外国語教育学会紀要 17号、127-146頁
- Crystal, David. (1995/2003). *The Cambridge Encyclopedia of the English Language (Second Edition)*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Trudgill, Peter and Jean Hannah. (2013). *International English A Guide to the Varieties of Standard English (5th edition)*. New York: Routledge

辞書

- Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English (8th edition)* (2010).
- Longman Dictionary of Contemporary English (5th edition)* (2009).

インターネット資料(最終閲覧日 2014年11月7日)

- KANDA×TUFS 英語モジュール <http://labo.kuis.ac.jp/module/>
- TUFS 英語モジュール <http://www.coelang.tufs.ac.jp/modules/en/>